

Rotary  国際ロータリー第 2630 地区東濃グループ
多治見西ロータリークラブ  ロータリーは
 世界をつなぐ

Weekly Report

ウィークリーレポート



会 長 伊藤 正雄
 幹 事 森田 宏治
 例会日 毎週 木曜日
 例会場 多治見市産業文化センター
 事務局 多治見市新町 1-23-4F
 T E L 0572-25-5100
 F A X 0572-25-5101
 Email n-rc@joy.ocn.ne.jp
 H P <http://tajiminishi.jimdo.com>

10
2019

2019~2020 年度 第 54 期会長テーマ「愛と夢と展望、さらなる奉仕活動」

第 2571 例会 2019 年 10 月 17 日

経済と地域社会発展月間

親睦家族旅行 越前・武生・福井

行		程	
多治見産業文化センター	====多治見駅北口(税務署東側)	====多治見 I C====(中央・名神)	====養老 S A【休憩】
7:45	8:00		8:45~8:55
※国の重要文化財「日本一複雑な屋根」をもつ			
(北陸)	====杉津 P A【休憩】	====武生 I C====岡太神社・大瀧神社【ボランティアガイドさんの案内・参拝】	・ ・
	9:50~10:00	10:40~11:10	
(徒歩)・ ・榑長田製紙所【襦紙やインテリア装飾和紙を製造している手漉き和紙工場：見学】	====武生 I C====(北陸)		
	11:20~12:10		
福井 I C	====福井市内【『滝の川 別邸』にてカニ料理のご昼食：懇親会】	====越前そばの里【買物】	====武生 I C====
	12:45~14:40	15:10~15:40	
(北陸)	====賤ヶ岳 S A【休憩】	====(名神・中央)	====内津 P A【休憩】
	16:25~16:35	17:45~17:55	18:10
多治見産業文化センター			
18:25			

本日のプログラム

点鐘

会長挨拶
委員会報告
幹事報告

点鐘



国内多くの地域で自然災害が多発している。最も怖いのは、今後 30 年以内発生確率 70%と言われる「南海トラフ地震・首都直下型地震」。

事業継続計画に対する取組みは、大企業に比べて中小企業は出遅れている。

これらを背景に、中小企業庁は「中小企業強靱化法」を今年7月に施行し、中小企業の事業継続計画作成促進を図っている。「人・モノ（建物・設備・在庫）・カネ（資金繰り）・情報（顧客データ）」に大きな被害を受けることで、事業活動停止に追い込まれるリスクを未然に防ぐことや小さくすることが事業継続計画の本質。計画を策定し経済産業省に認定されれば、防災・減災設備への税制優遇、補助金の優遇措置、認定ロゴマーク使用など複数のメリットを享受できる。自社にとっての必要な事前対策を実施することが大切であるが、4つの経営資源（人・モノ・カネ・情報）を考えるポイントとして進めていくことが得策。取組みの好事例として、同業他社との連携や設備被災防止、火災保険・地震保険加入、社員確保への好影響など挙げられる。是非ともこの機会にBCPを考えていきましょう。

先週の記録 ◇出席報告◇

会員数 33 名 出席免除者 4 名 出席義務者 29 名

出席者	欠席者	出席率
21 名	7 名	72.41%

◇スマイル報告◇投函者 19 名 金額 26,000 円

- ・吉野先生のノーベル化学賞すばらしいですね。今週の台風みなさん気を付けて下さい。伊藤正雄
- ・今日はライブイベントでナディアパークで仕事してます。例会終わったらすぐもどりませす。森田宏治
- ・親睦家族旅行 多勢のご参加戴きまして有難うございます。山口寛
- ・ロータリー財団への寄付をお願いします。田中登志男
- ・10/12 台風接近注意しましょう。小瀧康裕

着信書類

- ・ハイライトよねやま NO.235
- ・第7回日台ロータリー親善会議福岡大会のおしらせ

先週の卓話

「中小企業の強靱化（BCP 対策）」

近藤秀樹君



阪神淡路大震災、東北大震災に代表する企業のサプライチェーン崩壊、平成30年7月は西日本豪雨、北海道地震などによるライフライン停止、今年は台風18号による千葉県のリライフライン停止など、

（株）長田製紙所

越前和紙の伝統を継承しつつ、新たな可能性を追求

越前和紙の里で和紙を製造して100年以上。私ども長田製紙所では、先代・先々代から伝えられた様々な手漉き技術を活かして、主力商品である襖紙の製作から、近年は和紙を使った様々なオリジナル商品や特注のアート作品等の製作を通じ、新しい和紙の可能性を追究しています。

従業員は、経験年数30年以上の職人がほとんどで、皆日本のもの作りの心意気と誇りを持って仕事をしています。工場内は、水や道具の音に混じり時折笑い声も聞こえ、いつも和やかな雰囲気の中で作業を行っています。

1500年の長い歴史を誇る越前和紙。これからも、伝統を継承しつつ、新たな可能性を追求し続け、和紙の素晴らしさを次世代に繋ぐ企業でありたいと思っています。

10月24日（木） 特別休業

次回の例会は、10月31日（木）です。